

「女性がもっと受け取れるはずだった賃金の金額を求めよ」

『私たちにはことばが必要だ』のイ・ミンギョン、次は賃金格差に斬り込んだ！
男女賃金格差が OECD 加盟国中「不動のワースト 1 位」の韓国の社会事情は「不動のワースト 2 位」の日本でも共感必至。賃金差別は存在する！



失われた賃金を求めて

イ・ミンギョン 著 小山内園子・すんみ 訳

2021年
2月中旬
発売

予価 1,700 円+税 ISBN978-4-907053-47-5

『私たちにはことばが必要だ フェミニストは黙らない』で会話マニュアルという斬新な方法でフェミニズムを提言、日本の読者にも鮮烈な印象を与えたイ・ミンギョンが賃金差別の背景に迫る痛快エッセイです。ガラスの天井、キャリア断絶、M字カーブ、試験での減点、昇進での差別、着飾り労働など、まるで日本のことを描いているような社会状況、ぜひ多くの女性に読んでいただきたい内容です！

本書の一部

ズバリ、それぞれの頭の上に、それぞれのガラスの天井がある

差別は、「女性だってできる」ことを誰かが証明したときでなく、そのことばが「男性だってできる」に言い換えたときと同じくらい変に聞こえるようになったときに、はじめて姿を消す

男性が「それでも男だし」という理由で手にする上乘せ賃金は、女性たちの差し引かれた賃金と無関係ではない

働く女性は雇用が不安定なうえに、働ける期間が短く、不利な契約条件を押しつけられる／あれほど多かった女性が職場からいなくなり、取って代わられるあいだに、女性の賃金はどこへ消えたのだろう

男性は「家事は女性がやるもの」ということばにあぐらをかいて、生きるのに必要な労働を女性に丸投げする

目次

1. 昇進 止まっているエスカレーター
2. 考課「ふりだしに戻る」と「3つ前へ」
3. 同一職級 傾いた床
4. 与えられた条件 ハイヒールと砂袋
5. 雇用安定性 消えていく女性たち
6. 就職
7. 進路選択
8. 達成度評価
9. 資源

解説 日本で、女性がもっと受け取れるはずだった賃金の金額を求めよ 西口想

装丁◎沼本明希子 (direction Q)
判型頁数◎四六判変型並製・216 ページ
予価◎本体 1700 円+税
ISBN978-4-907053-47-5 C0098

FAX : 03-3294-2177 JRC宛

◎取次＝JRC tel 03-5283-2230 fax03-3294-2177
JRCを通して全ての取次への出荷が可能です。
◎返品は無期限で承ります【返品了解者：宮川】

貴店番線印	ご注文数	タバブックス	社会／エッセイ	返
ご担当 様		<p>失われた賃金を求めて 新刊 イ・ミンギョン 著 小山内園子・すんみ 訳 2021年2月中旬 予価本体 1700 円+税 ISBN978-4-907053-47-5</p>		品
ご担当 様		<p>私たちにはことばが必要だ 5刷 フェミニストは黙らない イ・ミンギョン 著 すんみ・小山内園子 訳 定価本体 1700 円+税 四六判変型 /228 頁 /2018 年 12 月 ISBN978-4-907053-27-7</p>		条
ご担当 様		<p>韓国フェミニズムと私たち タバブックス編 *盛り上がる韓国フェミニズムムーブメントを取材、検証した1冊 定価本体 1300 円+税 A5 版 /152 頁 /2019 年 11 月 ISBN978-4-907053-37-6</p>		件
				付
				き
				注
				文
				扱
				い